

がん化学療法レジメン( 外来 ・ 入院 )登録申請用紙

疾患名 胃がん (進行再発) / 術後補助 / 術前補助

療法名 mFOLFOX6 (14日間/サイクル 全 サイクル)

施行開始予定日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

	薬品名	投与量	単位	希釈液	液量(mL)	投与時間(分)	投与経路	投与日	備考
①	NS				50	全開	CV ポート	1	フラッシュ
②	デキサメタゾン パロノセトロン(ア ロキシ)	6.6 0.75	mg mg	NS	50	15	CV ポート	1	
③	オキサリプラチン (エルプラット)	85	mg/m <sup>2</sup>	5%TZ	250	120	CV ポート	1	レボホリナートと 同時
④	レボホリナート	200	mg/m <sup>2</sup>	5%TZ	250	120	CV ポート	1	オキサリプラチン と同時
⑤	フルオロウラシル (5-FU)	400	mg/m <sup>2</sup>	5%TZ	50	全開投与	CV ポート	1	ポンプと同時
⑥	フルオロウラシル (5-FU)	2400	mg/m <sup>2</sup>	NS		46 時間	CV ポート	1-3	ボースと同時
⑦	NS シリンジ				10×2			3	フラッシュ

I . 投与に際しての注意事項

II. 投与・休薬基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$ )

好中球数  $\geq 1,500$ 、血小板数  $\geq 75,000$ 、下痢・口内炎 $\leq \text{Grade I}$

III. 減量基準 (例:Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

以下の場合、20%減量

Grade3 の非血液毒性

Grade4 の血液毒性

発熱性好中球減少症

前のサイクルで Grade3 の血小板減少 and/or 好中球減少

Grade3 以上の胃腸障害または grade3 の手足症候群 → 5-FU 20%減量

Grade2 の心毒性 → 5-FU 中止

7日以上痛みが持続する末梢神経障害 → オキサリプラチン 20%減量

2サイクル以上継続する末梢神経障害 → 次サイクルオキサリプラチン 50%減量

Grade3 の神経障害で中止

IV. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)

Grade3 以上

好中球減少 9.3%、貧血 2.3%、嘔吐 4.6%、下痢 2.3%、倦怠感 7.0%、食欲不振、神経障害 2.3%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

Jpn J Clin Oncol. 2012 Aug;42(8):686-90.

Gastric Cancer. 2013 Jul;16(3):411-9.